

COP 26

黒田インターナショナル

黒田 毅

環境負荷ゼロの世界への転換は、COP26における完全合意を求め、すべての産業におけるルール化した製品生産と社会構築を求められる。

これら政治の合意は、現実を与えるものであり、合意は安易に可能なのである。また世界の自然環境への政府における関与は、生活の永続的な維持環境を構築し、技術革新とともに新しい世界の創造を実現する。

これらは人類が有する対立や争いでない、新しい協調への転換であり、世界が全ての人々の共有の利益において、その判断を共有する。

これらは戦争の廃絶や未来の共有など新しい可能性を世界へ提案するものである。

これらは民間組織や政府における新しい基盤と基準としての世界への参加を提案する。

未来という現実はその可能性を与え、それを失う選択は必ず誤りなのである。